

## 教育目標

- 確かな学力
- 豊かな心
- 健やかな体

を持つ生徒の育成



喜三中だより

第12号

平成26年12月22日

発行責任者：佐久間 雄彦

## 第二学期 終業式 校長式辞

長かった第二学期も、本日終業式を迎えました。

二学期も、学校行事や諸活動、各種大会・コンクールと様々な活動がたくさんありました。

二学期を振り返ったとき、一番にあげられるのはなんと言っても煉華祭ではないでしょうか。合唱コンクール、総合、学年、有志のそれぞれの発表、生徒会企画、そのどれもが時間のない中、協力して取り組み大成功に終わることができました。皆さんの心にも忘れられない思い出として残ることと思います。もう一つは、9日に行われた「長縄大会」です。あの大会の盛り上がり、クラスの団結力は素晴らしいものでした。

さて、勉強も部活動もテスト前・大会前は誰でも本気になって取り組みます。しかしそれではなかなか身に付きません。毎日の積み重ねが大切です。

3年生は言うまでもなく、受験に向けた大事な冬休みです。小・中学校と違い高校は義務教育ではありません。希望すればその高校に入学できる訳ではありません。以前は受験戦争などと言われていた頃もありました。今ではあてはまらない言葉かもしれませんが、その思いで毎日の学校・家庭での勉強に、必死に取り組んでいる多くの受験生がいることを認識して下さい。

1・2年生の中には まだ先のことと聞いている人もいるかもしれませんが、そうではありません。今から先を見据えてしっかり積み重ねていって下さい。

明日からの冬休み、皆さんに「是非こうしてほしい」ということを三つ話します。

一つ目は、二学期と平成26年の自分自身の成長を振り返ってほしいと言うことです。自分はどの部分でどれだけ成長したと言えるだろうか。いろいろな活動を通して、皆さんが上げた成果は、人によって様々だと思います。成果が不十分だと思う人は、これから自分はどうしなければならぬかを考え、実践してほしいと思います。

二つ目は、何か新しいことに挑戦してほしいということです。

自分の成長を振り返り、現状に満足しているのではなく、更に成長した自分になるために、「新しいこと」に挑戦して下さい。

三つ目は、自分の命や安全を自分で守って下さい。冬場特有の事故、交通事故、火災事故、インターネット等による事故に、遭わない・起こさないということです。

明日から1月7日まで、冬季休業日です。

短い休みですが、平成26年が終わり平成27年という新しい年を迎える、大きな節目です。

全員が、一年のそして三学期の目標をしっかり立て、心新たに新しい年を迎えることを願って式辞とします。

平成26年12月22日

喜多方市立第三中学校長 佐久間 雄彦